

持経宿・熊野修験奥駈修行の接待と平治宿巡回

◇実施日 2015年5月24日(日) 小雨後晴

◇参加者 川島 功、沖崎吉信、大江加代子、畑林清子、

木下嘉彦、児嶋道夫、橋本 梓、濱野 兼吉、

青木宏充(前泊)。

計9名。

新宮の沖崎宅に5時30分に集合。橋本氏寄贈の薪、プロパンガス・コンロと鍋、甘夏3箱と菓子等の食材、平盆、先日仮薪置場の不足波板トタン・敷板等で沖崎、川島車は満杯である。

池原の池郷林道口手前に行くと、昨夜行仙宿(40名)に泊まらず民泊した熊野修験の方(12名)が、池郷林道ゲート迄車で送って頂き、持経宿まで歩く出立の身づくろいをされている。

池郷林道の崩落箇所は、山側が削られ、工事が始まる迄は通行に支障がなさそうだ。

持経宿に7時30前に着くと、青木さんの車が林道に停車され小屋から煙が出ている。左足を骨折したうえ擦過傷で12針を縫った後、病院からそのまま大阪の自宅まで、車を運転してお帰りになったとのこと。まだ2週間あまり大丈夫なのかなあ、と心配していましたが、本人はビッコを引いていますがいままで元気ですとのこと。安心もしましたが養生も大事ですよ、と伝えたい気がしました。

たくさんの荷物を降ろすと各自それぞれ自分たちの仕事に、大江・畑林さんは紅茶・お茶等の準備、木下棟梁は屋根に上り小屋改築のための採寸と状況調べ、児嶋・橋本さんは先日仮設置の薪置場の棚敷板とトタン屋根の補修、沖崎さんは平治宿巡回

回の準備、私は川島代表と幟2本を持って千年檜前のお堂に立て、深山檜を採って供え、戻って持経宿にも供えました。不動堂前には、幟が立ち初夏の風にはためいている。

車を小屋前から移動後、沖崎・橋本・濱野の3名は、平治宿巡回に8時半頃出発。

川島、児嶋は、仮薪置場の北西側にブルーシートを張り、雨の吹込みを防止する。

9時前に池原民泊の熊野修験の方が持経宿に着かれ小休止後、千年檜で本隊と合流する様に荷を置き迎えに行く様に勧める。

9時過ぎにホラの音が響き渡り、千年檜に着いたとわかる。大江・畑林さんにより紅茶、冷蔵庫に忘れた西瓜を来る途中で買った西瓜も切られ、ベンチ等に並べられ準備完了。

9時半前に熊野修験の一行52名が不動堂に着かれ勤行。

高木亮英導師から、持経宿改築に千円以上の浄財支援と本日接待の御礼が述べられる。高木亮英師から多額、熊野修験有志一同から改築浄財の贈呈をして頂き、有難く受領した。

皆さんの頂いた浄財で梅雨明け後に、此処に居られる木下棟梁に改築して頂きます、改築後に再訪して頂きたいと返礼を述べ、用意した紅茶、西瓜、菓子等でしたらぐらく休息して頂く



熊野修験一行到着



不動堂で勤行



勤行に唱和

途中休憩時に水分補給にと、甘夏を一人1個以上を差入れ手渡す。

西瓜は初物の方も多く、喜んで食味して頂いたので買い増した甲斐があった。

休憩中に、体力に自信のない方が、余分な荷物を前鬼・小仲坊へ届けて欲しいと頼まれ、寄付して頂いた熊野修験の人であり、預かると次ぎ次ぎと依頼があり、7名程の荷を預かり届けることになる。

9時50分出立！「満行されますように！」「頑張ってください！」と見送る。六根清浄！懺悔！懺悔！と唱和しながら阿須迦利岳の急坂を登って行かれる。



紅茶・西瓜等で休息

高木亮英導師

持経宿出立！

平治宿への奥駈道は、ブナ、ミズナラ、ホウなどの広葉樹、ツガ、高野マキなどの針葉樹の大樹が神々しく、「山是神」の表現がピツタリで大峰の原生林の魅力がタツプリです。

途中、中又尾根分岐手前で、熊野修験のご一行40名(行仙宿泊)と出逢いました。

わが「山彦会員」中根君は顔立ちも凛々しく、山伏装束も良く似合っつて丸刈り頭に兜巾がバツチリ決まりまさに行者です。私の知人、友人も何名か参加していて、挨拶や言葉を交わしま

した。

平治宿小屋近くで沖崎さんから、薪になるような倒木があれば小屋まで運んで欲しいとのことでしたが、適当な倒木が見つからないまま平治宿小屋に到着。

沖崎さんは小屋の掃除と整頓、志納箱より現金を回収。橋本さんは薪を探して近辺へ、私は平治小屋備付けノートの記録を「HPの山小屋だより」に掲載のため写真に撮った後、倒木を探して薪用に適当な長さに小切り、薪置き場に収納して平治宿小屋の作業を終了し、持経宿に向け10時前に引き返す。

持経宿が近くなると峰中進行を知らせるホラ貝が響いて、熊野修験一行が阿須迦利岳を経て前鬼に向け出発したことを知る。

10時40頃に持経宿に戻ると残留組の仕事も一段落。

朝が早かったので昼食となりました。沖崎さんから連休中の持経宿小屋当番の村吉さんよりストーブの熱効率が悪く、暖まるまで非常に時間がかかること、木下棟梁から小屋の改修についての説明を受けて、改修中の宿泊者には便宜を図ること、各小屋のトイレ設備の認識不足から便槽に水の注入が必要なことを教わった。私はトイレの掻き出しの苦労話を、故戸石さんから聞いたことはありませんが、まだ一度もかかわったことがなく、皆さんのご苦勞に対し申し訳なく思いました。

児嶋さんからのコーヒーが入り、皆さんの持ち寄ったアンパンやお菓子を楽しんだあと、後片付けをして12時前に下山。

熊野修験の皆さんの荷物を前鬼に届けなければならぬので、池原のスポーツ公園まで下り、昨夜行仙宿の接待組に連絡するが通じず、託けも出来ず13時前に前鬼に向かいました。

前鬼では山上夫妻をはじめ行仙宿小屋での炊(かしき)を終えた皆さんが、夕刻到着の熊野修験一行の接待をするため待機されているので、預かった荷物を託ける。

川島、沖崎、木下棟梁は、五鬼助さんへ挨拶に、五鬼助さんから頂いたのに、小仲坊として持経宿改築の浄財を頂戴した。ご配慮に感謝申し上げます。

私達は待機中、皆さんからコーヒーやお菓子の接待を受けて、久方ぶりに訪れた前鬼の郷の初夏の風景を楽しみ、屋敷の石垣の下にあるオオヤマレンゲの花を写真に撮って、お堂に今日の行事の無事終了の勤行、最後に全員で五鬼助さんご夫妻にお礼の挨拶をすませ、14時前に帰路につきました。

持経宿小屋には本宮霊現所の「山是神」、平治宿には園城寺・長吏の「修験之道」、行仙宿小屋には塩川正十郎先生の「山林料擲」の扁額が懸かっています。

私は勝手に山に畏敬の念を抱き、山を歩き己を磨く、と言うことだと解釈しています。山を歩くことは自然の優しさや、怖さを充分認識して身を引き締め、山に自分を委ねていくことかなーと思った今回の行事でした。私なりに得るものが沢山あって、高野山の小瀧螺雲師や横山義彦行者さんの凄さを、改めて私なりに感じた今回の行事でした。

(主記：濱野、川島補足)